

NST通信

お知らせ

- ◆委員会
5月8日(火) 15時00分～ 講義室
- ◆勉強会
5月8日(火) 17時40分～ 大会議室
- ◇情報提供 栄養補助食品 リハデイズ 大塚製薬
- ◇症例 新2病棟
- ◇ミニレクチャー 中央検査室

春の陽気とともに新年度が始まりました。今年度のNST通信は、各部署のNST委員の方に記事担当をお願いしてトピックスなど紹介してもらう予定になっています。2018年度初号は薬剤部の担当です。

薬剤部

低リン血症治療薬であるホスリボン®配合顆粒をご紹介します。

NST回診時に慢性的な低栄養患者（長期絶食、飢餓状態、担がん患者等）に対して栄養療法を開始する際にリフィーディング症候群が発症する可能性を念頭において主治医に血清リン値の測定依頼、低リン血症の治療提案を行っています。低リン血症の治療薬としてホスリボン®配合顆粒の投与を提案しています。

ホスリボン®配合顆粒について

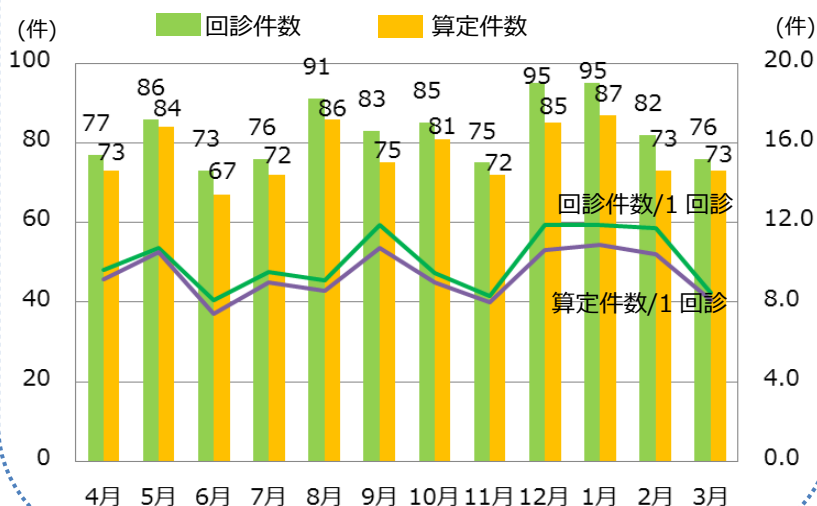
性状	白色～微黄白色の顆粒剤
含有量	1包(0.48g)中にリンとして100mg含有
投与方法	ホスリボン®配合顆粒を1日あたり20～40mg/kgを目安とし 数回(3～6回)に分割して経口服用または簡易懸濁法にて経管投与します
主な副作用	腹痛、下痢、アレルギー性皮膚炎の報告がありますが、当院NST介入症例13例中、 1例において下痢を認めました。1日量を変更せず服用回数を4回から6回へ変更後、 下痢は改善しました。下痢を認めた場合は服用回数を変更してみてください



リフィーディング症候群とは、慢性的に栄養摂取が低下していた患者に急に十分量に近い栄養量を投与することで血清電解質(P、K、Mg)低下、特に低P血症が特徴的で意識障害や心不全、呼吸不全などに至る重篤な代謝性合併症です。予防策として投与熱量は10kcal/kg体重から開始し4～7日間にかけて徐々に増量する。血清K、P、Mg値を測定し、低下に対しては補正することが推奨されています。

2017年度NST回診件数

総回診件数994件、1回診あたり10.1件、診療科別では内科、脳外科、外科の順に多い状況でした。



NST委員長 村田先生より

みなさん
頑張って
下さいね!



今年度から
顧問として助言
していきます!

NST顧問 土本先生より



2018年度NST委員

